

### お手柄の大総小学校

#### 消防協力で感謝状

火災の初期消火に協力したとして2月9日、八日市場市外三町消防組合消防長から大総小学校に感謝状が贈られました。2月1日午前7時44分ごろ、小学校に隣接するきのか栽培工場からの煙に気づいた佐久間君が「火事だ」と先生に連絡。先生とソフトボールの早朝練習をしていた児童約10名が、連携して校内の粉末消火器を使い屋内消火栓から放水して消火しました。

初期消火で鎮火するのは珍しいとのこと。同校の日ごろからの防災に対する意識の高さがうかがわれました。



記念品を受け取る佐久間裕介くん



山武支庁長、實川町長からお祝いを受ける小川さん

### 小川ゆきさん数え百歳

寺方にお住まいの小川ゆきさんが今年数えの百歳を迎えました。

このほど、県知事代理の菅谷山武支庁長と實川町長が小川さん宅を訪れ、祝詞や紫のちやんちゃんなど記念品を贈って長寿を祝いました。

ゆきさんは、明治34年9月9日生まれで、顔の色つやもよく日中は繕い物をしたり、また洗濯、身の回りの掃除などは自分でしているそうです。毎日家族に優しく見守られながら過ごしています。いつまでもお元気で過ごしてください。

## 県政モニター全体会議

みなさんは、県政モニターをご存じですか。知事の委嘱を受けて、県政についての意見・提言の提出やアンケート等への回答、そして、モニター会議への出席などが主な仕事です。

2月10日、千葉市「プラザ菜の花」で平成11年度県政モニター全体会議が開催されました。県内を11地域に分け山武地域の代表として当町にお住まいの折笠英夫さんが『新しい時代を担う人を育てる社会環境づくり』と題し、意見発表を行いました。そのなかで「家庭の役割、地域社会の役割、そして学校教育・行政の役割」を提言され、その内容の深さに会場のみなさんは熱心に耳をかたむけていました。折笠さんは、これからも地域の活性化に一層関心を深めたいと述べていました。



意見発表する折笠英夫さん



海岸清掃をするサーフラーのみなさん

### 自分たちの手で海岸をきれいに!

白砂青松の海岸として認定されている屋形海岸。しかし、心もとない人々によって捨てられたゴミや海上から押し寄せられたゴミで、海岸は必ずしもきれいな状態とは言えません。昨年からは月に一度ですが地元サーフラーが集まって、サーフィンを楽しむ前に海岸のゴミを回収することを始めました。約1時間ほどの作業ですが、軽トラの荷台はゴミ袋でいっぱいになってしまいました。

代表の水野恵一さんは、「海岸をきれいにすることでゴミを捨てる人がいなくなることを願っています」と。そして、「できるだけ多くの人も参加してほしい」と話していました。